

令和4年度 穂波西中学校区小中一貫教育構想

穂波西中校区教育目標			志を立てて未来を拓く児童・生徒の育成			
部会			豊かな人間性	学力向上	体力向上	自主・自律
重点目標			○他者の考えを尊重し、自分の意見もち、視野を広げることで、道徳性を高めることができる児童・生徒の育成。	○基礎的・基本的な学力を習得するとともに、自分の考え（結論と根拠）を書く力を身につけた児童・生徒の育成。	○健康の保持増進と体力向上を目指し、規則正しい生活を送りながら、運動に親しむ児童・生徒の育成。	○主体的にきまりを守り、様々な場面において、自分で考え、適切な行動を選択し、実行しようとする児童・生徒の育成。
9年間の連続した取り組み	取り組みの重点	前期 小1年～小4年	・自分の考えを持ちながら、他者の考えも認めることができる。	・自分の考えを持ち、友だちの考えと比べ、共通点や相違点を見いだすことができる。	・体育授業時において、体力を高める方法を知り、運動を持続する力を高めることができる。	・望ましい生活習慣を身につけるとともに、自ら進んで約束や決まりを守ることができる。
		中期 小5年～中1年	・自分と他者の意見を比較・検討し、視野を広げて考えを深化・統合することができる。	・自分の考えを持ち、友だちの考えと比べ、自分の考えを深めたり修正したりすることができる。	・体育授業時において、意欲的に体力を高める運動に取り組み、運動を持続する力を高めることができる。	・約束や決まりの意義を理解した上で、進んでそれらを守るとともに、集団の一員として、みんなと協力することができる。
		後期 中2年～中3年	・自ら考え、正しく判断し、自己の目標実現に向かって積極的に取り組むことができる。	・自分の考えを持ち、友達の考えと比べ、自分の考えを深めたり、新しい考えを導き出したりすることができる。	・体育授業時において、工夫して体力を高める運動に取り組み、運動を持続する力を高めることができる。	・約束やきまりの意義を理解した上で、進んでそれらを守るとともに、自律的に判断し、時と場合に応じた適切な言動ができる。
	具体的な取り組み		○1学期に道徳アンケートを実施し、課題を明らかにして、課題解決に向けて授業に議論する場面を設定する。 ○対話を通して、自己を見直し、自己理解を深めさせる発問づくりを工夫する。 ○2学期末に道徳アンケートを実施し、授業実践及び児童・生徒の変容を4校で交流する。	○基礎的・基本的な学力を習得するための取り組みを工夫する。 ○自分の考え（結論と根拠）を書く力を身につけさせる授業を実施する。 (1)児童・生徒が考えたくなる切実な問題設定 (2)比較・検討する場面の設定 (3)考えを書く場の設定	○持久走大会や持久走記録会に向けた運動を持続する力を高める授業の工夫する。 ○早寝・早起き・朝ご飯の取り組みを4校で交流する。	○規範意識の向上及び自己指導能力の育成に向けた学級活動の実施→学級力向上プロジェクトの実施 ○「履き物そろえ」の取り組みを継続する。→児童会・生徒会の取り組みとして行う。 ○小中統一した「校区の約束」の定着→全家庭に「校区の約束」を配布し、学校と家庭が共通理解を図る。また、学級で行事等の事前指導を行い、児童・生徒の意識の向上及び徹底させる。
地域・他校種との連携			椋本小PTA・高田小PTA・若菜小PTA・穂波西中PTA・各校熟年者マナビ塾・青少年対策健全育成会・校区社協・保育園・幼稚園・地域施設・ゲストティーチャー 等			